

京都府立東宇治高等学校 学習到達目標（CAN-DOリスト）

第3学年普通科								
第2学年普通科								
第1学年普通科								
	1	2	3	4	5	6	7	8
聞くこと	自分自身や家族に関する簡単な質問を聞き取ることができる。	授業中の指示や説明が理解できる。	ゆっくりと話されたり、パラフレーズされれば簡単なアナウンスなど指示や説明はほぼ聞いて理解できる。	簡単な指示や説明であれば、ある程度のスピードがあっても理解できる。	身近な話題や学習したテーマに関する話題を聞き取ることができる。	身近な話題や学習したテーマに関する話題をほぼ正確に理解する。	予備資料があれば、やや複雑な社会的な話題について類推したり情報を総合しながら理解できる。	社会的な話題について自分の意見を持ちながら批判的に聞き、質問ができる。
読むこと	身近な話題について、簡単な英語で書かれたまとまりのある文章から特定の情報を取り出すことができる。	身近な話題について、比較的簡単な英語で書かれたまとまりのある文章から特定の情報を取り出すことができる。	身近な話題について書かれたまとまりのある平易な文章から特定の情報を取り出すことができる。	身近な話題について書かれたまとまりのある比較的平易な文章から特定の情報を取り出すことができる。	まとまりのある文章を読み、形式スキーマを使ってメインアイデアと詳細情報を分けて概要を把握することができる。	まとまりのある文章を読み、比較的即時に概要を把握することができる。	社会性の高い分野について書かれたテキストについてその構成を理解でき、それに基づき内容を理解できる。	社会性の高い分野について書かれたテキストについてその構成をすぐに理解でき、それに基づきその趣旨が理解できる。
話すこと	やり取り	簡単なあいさつや礼など自分の気持ちを伝えることができる。	（配慮や援助があれば）ネイティブスピーカーと日常的な話題について短い時間対話できる。	話す相手と日常的な話題について理由などを尋ねる質問や相槌や繰り返し等の言葉を使って一定時間対話を継続させることができる。	お互いの配慮があれば、話す相手と簡単な形式を用いて理由や具体例をあげながらやり取りし、一定時間対話を継続させることができる。	相手の話す概要を理解した上で、理由を含め意見を述べたり、質問を投げかけることができる。	相手の話す概要を理解し、理由や例を含め意見を述べたり、質問や反論を投げかけることができる。	相手の話す内容を理解し、理由や例を含め自分の意見を客観的に述べ、論理的に同意・反論を表すことができる。
	発表	自分の趣味や興味などについて簡潔に述べることができる。	自分の趣味や興味などについて詳しく述べたり、誰か身近な人物を簡潔に紹介することができる。	身近な話題や学習した内容について、（準備をして）感想や意見を交えながら話すことができる。	身近な話題や学習した内容について、感想や意見を交えながらその場で話すことができる。	伝えたい情報をその場で簡潔に述べたり、絵などを活用しながら、自分の関心あることなどについて、発表することができる。	自分の考えを即興で順序立てて述べることができる。	社会的な問題について、自分の意見や考えを即興でも順序立てて自分の考えを述べることができる。
書くこと	自分の趣味や興味などについて5文程度の英文を書くことができる。	学習したテーマ及び自分の興味のあることについて、短い文章で感想や意見を書くことができる。	学習したテーマ及び興味のあることについて、簡単な感想や意見を理由を述べながら記述することができる。	興味のある分野について、感想や意見を理由や具体例などを加えて記述することができる。	パラグラフ構成を意識して、エッセイを書くことができる。	主張－理由－具体例などのパラグラフを意識して、エッセイを書くことができる。	1～2パラグラフレベルの平易な英文を論理的に書くことができ、相手に理解してもらうことができる。	やや長いエッセイや感想を比較的短時間で論理的に書くことができる。